



本社作業場が引っ越し、工場設備も更新

営業社員 D

7 月に 96 年間 梱包・出荷を行ってきた灘区の工場（こうば）をポートアイランドの焙煎工場に集約しました。集約されることで在庫調整もやりやすく、より鮮度の高い状態での出荷が来ています。焙煎工場の設備も新しくなり、フルオート生豆精製機が撤去され、システムに左右されないアナログな機械が導入されました。60 キロの生豆を持ち上げずに、「吸い上げ」が可能です。非効率にはなりましたが、重いものを持つ必要がなくなり、誰にでもできる仕事になりました。新たな働き方を創造出来ればと思います。

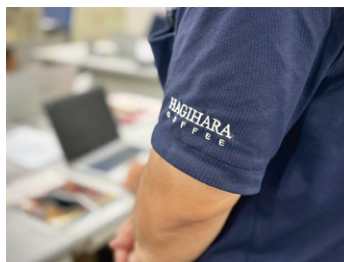


インスタで好評だった投稿は？

営業社員 I

萩原珈琲のインスタグラムのフォロワー数は 3,346 人です。（2024.12.4 現在）

年内の目標は 3,500 人なのですが、何気なく上げた記事が意外とインタラクションが良かったのです。それは新たにオフィシャルのポロシャツを作ったという記事です。特別暑い夏、労働効率を上げるためオフィシャルのポロシャツを作り、それを着用して営業部で本社の前でポーズを決めて撮影しました。新ユニフォームで無事に夏を乗り越えることができました。



炭火焙煎珈琲の染め物!?

営業社員 T

廃棄豆の新たな活用方法としてコーヒー染めのワークショップを行いました。第 1 回は父の日に合わせて「コーヒー染めのハンカチを贈ろう」をテーマに開催。当日進行をする社員もコーヒー染めは未経験だったので事前に何度も練習をして本番に臨みました。おかげさまで参加者の方々にもご好評を頂き、夏休みの自由研究企画、灘区の支援学校の先生方へのレクチャーも行うことができました。





神戸市西区の小池農園こめハウスさまの畑を借りて農業体験する【ほるもん（捨てるもの）プロジェクト】継続中です。廃棄豆を堆肥に混ぜ込み、約9ヶ月かけて自分達で育てた野菜で作ったカレーは格別の味がしました。が、しかし…にんじんだけ1本も収穫する事が出来ず、普段何気なく買っている野菜を『作る』という難しさを勉強できました。この悔しさを糧に来年もカレープロジェクト継続します！



今年は一味違う！ハロウィンビーンバグトス

営業社員 F

今年のハロウィンブレンドは、毎日本社前を通って下校する地域の子どもたちと“あそび”ながら作りました。ハロウィンらしい絵が描かれた箱にめがけて、麻玉（麻袋に豆を詰めた玉）を投げ入れ、入った玉の割合で配合を決定しました。不思議と自分たちで作るブレンドとは違う爽やかな美味しさがあり、楽しみながら作ったブレンドは社員の心に残るものとなりました。イラストを描いてくださった minfactory 様、協力してくれた地域の子どもたち、ありがとうございました！



職業体験、パワーアップ

営業社員 T

毎年、11月の中ごろに「トライやるウィーク」を受け入れ、地元の中学生に萩原珈琲での仕事を体験してもらっています。前回までは製造部での商品作りが中心でしたが、今回からは内容をリニューアルしました。営業部・総務部も加わり会社全体を体験してもらえたと思います。最終日は本社前でテントカフェを開き、自分たちで考えたブレンドを本人たちが店員さんになって提供。お客様との交流にもチャレンジしてもらいました。



編集後記

この新聞を通じて取り組みを振り返っていますが、本当にあっという間の1年でした。地域の会社として出店したイベントやワークショップでは、たくさんの人たちとつながりを持つことができました。お得意先の皆様には「喫茶店に行こう」ポスターや季節のブレンドなど、多くのご協力をいただき本当に感謝しております。取り組みを通して人との関わりが生まれた、とても恵まれた1年だったと感じています。どうぞ、2025年も萩原珈琲をよろしくお願いいたします。

営業社員D